

横浜市立茅ヶ崎東小学校 令和5年度 体育・健康プラン

～体育・健康に関する指導の全体計画～

1 中期学校経営方針

(1) 学校経営中期取組目標

学校経営中期取組目標	
○全職員が学校経営に主体的に参画し、児童や保護者、地域から信頼される楽しく豊かな学校づくりを目指します。	
・一人ひとりの子どもが、学習の楽しさを実感しながら、主体的に問題解決に取り組む授業を推進し、学力の向上を図ります。	
・一人ひとりの子どもが、自己有用感をもち、自他との違いを認め、大切にしながら安心して学校生活を送れるようにします。	
・小中一貫ブロック校や家庭、地域と連携して、地域の中でともに子どもを育てる学校づくりを進めます。	

(2) 体育・健康に関する指導の重点取組分野・取組目標・具体的取組

重点取組分野		取組目標	具体的取組
健やかな体		日々の体育学習やスポーツ委員会の運動集会、朝の体力アップ、中休みのいきいきキッズなどの取組を通して、子どもたちが運動の楽しさを味わい、毎日の遊びに取り入れたり、体力の向上につなげたりすることができるようにする。	①スポーツ委員会を中心とした、学校全体での体力向上の取り組みを実施していく。マラソンや縄跳びなどの誰でも取り組める運動を取り入れていきたい。また、地域ボランティアの方と連携した「いきいきキッズ」の活動でも児童の体力の向上を図っていく。 ②新体力テストの記録の活用を考えていく。体育の授業や学校生活で児童が活用することで、児童一人ひとりの体力アップの意識向上を図っていく。
担当	体育部		

2 体育健康に関する実態把握

(1) 体育・健康に関する実態

- ・休み時間には体を動かして元気に遊ぶことができている。(学年を限定)
- ・体育の授業では、安全に力いっぱい運動している。
- ・いきいきキッズに進んで参加している。互いに協力し、自分の力にあった場を選び、高め合いながら取り組んでいる。
- ・給食の残量が少しずつ減ってきている。朝食の、摂食率も市の平均に比べると高くなっている。

(2) 今後の見通しについて

- 一昨年より休み時間には校庭の使用を制限して密の回避をしながら運動時間の確保を行っている。家庭ごとの考えも様々で、下校後は遊びに行かない児童もいれば以前と変わらず夕方まで十分に体を動かす児童もいるなど、全体的に捉えると運動量が十分であるとは断言できない。心の健康面も考慮して、心身ともに健康でいられる環境を整えていきたい。
- 放課後の子ども運動実施時間が、市の平均と比べると少なく、体力低下が心配される。地域に外遊びができる空間は十分にあるものの、塾に通っている子どもも多く、体を動かす習慣が十分に身に付いているとは言えない。そのため、よく体を動かす子どもと、そうでない子どもとの二極化が表れているのも現状である。学校では子どもが進んで体を動かしたくなるような、環境整備、意欲付けを併せて行っていきたい。
- 自分の体力について知る機会が少ないので、積極的に新体力テストの記録を参考にして、体育の授業で生かせるような指導を目指す必要がある。

教科

《体育科・保健体育科での取組》

<体育学習>

- 順番やきまりを守り、より楽しむためのルールを工夫して、他者との豊かな関わりをもちながら運動できるようにする。
- 運動する場所や用具の安全を確かめ、めあてに向かって最後までやり遂げようとする。
- 適度な運動の必要性や基本的な生活についての知識をもち、行動できるようにする。
- 新体力テストの結果を把握し、子どもたちの体力の向上につとめる。
- 学習カードや個の課題にあった場を設定するなど、工夫した授業づくりをする。
- ICT 機器やデジタル教材を使って、動きを視覚でとらえることができるようにする。
- 発達段階や個人差を踏まえた一人ひとりを見た指導をする。

《他教科での取組》

- 家庭科では、食教育との関連を図り、学校の充実を図る。

道徳・特活・総合

- ・運動の楽しさを知り、習慣化させる取り組み・指導を行う。
- ・体力だけでなく、お互いの状況や思いを理解し、コミュニケーション能力の向上を目指す。
- ・運動会では、体育科で培った、短距離走や表現運動の資質能力をさらに伸ばすために、各学年での演技指導や短距離走の指導の充実を図る。
- ・食育では、日々の食事や給食を通して、①食事の重要性②心身の健康③食品を選択する能力④感謝の心⑤社会性⑥食文化を身につける。
- ・「スポーツ集会」制度を導入し、子どもたちが運動に親しみ、意欲的に運動に取り組もうとする態度を育てる。朝の時間を活かし、体力の向上を目指すとともに、協調性や、団結力を高める。
- ・道徳では、規範意識を高め、自他の生命を尊重し、主体的に他者に関わっていきこうとする態度を育成する。
- ・特別活動では、学級活動、委員会活動、体験学習、校外学習を通して、豊かな人間関係を築こうとする態度を育成し、コミュニケーション能力を高める。

課外活動

- ・おやじの会主催のキックベース、昔あそび大会へ積極的に参加できるようにする。

令和5年度 茅ヶ崎東小学校 体力向上一校一実践運動

《名称》 東っ子体力向上～いきいきキッズ～

《ねらい》 運動機会の確保、長縄・ダブルダッチの技術向上、団体競技の楽しさを知る。

《内容》 地域のダブルダッチ団体「ZERO」の方々と保護者のボランティアの方、または子どもたちで、長縄・ダブルダッチの縄をまわし、中休みを利用して跳ぶ練習をする。中休みには長縄大会を実施して、体力向上や運動に向かう姿勢の向上を図る。

●指 標： ①生活実態調査「運動やスポーツの実施状況」「1日の運動・スポーツの実施時間」

今年度は、児童の体力アップを図るため、朝の時間を活用した短なわあそび・運動も取り入れる。